

南島原市部活動地域展開 未来構想（地域クラブ活動）

南島原市ではこれからの未来において児童生徒や地域の方、教職員が生き生きとスポーツ・文化活動に取り組めるよう、市内小・中学校、地域、関係団体と協力・連携し、南島原市モデルを創り出し、**生涯にわたって豊かなスポーツ・文化ライフの実現する。**

地域クラブ統括組織

個人クラブ型

- 個人で設立
- 運営主体は個人
- 市の認定は運営状況等により協議する。
- 競技力向上を目指すかどうかはクラブの趣旨による。

学校クラブ型

- 部活動を中心に設立
※範囲は原則市内在住の児童生徒が対象。
- 運営主体は保護者会
- 市認定には「人才リスト」に登録され、認定を受けた指導者が必要。
- 部活動の意義を継承
生徒の「自主的・自発的活動」を行う。

C・Sクラブ（コミュニティ・スクール）

- C・Sで設立
- 運営主体は地域協働本部
- 範囲は中学校区の児童生徒
- 地域の特所を生かした活動

協会クラブ型

- 各競技協会が設立
※範囲は原則市内在住の児童生徒を対象とする。
- 運営主体は各協会
- 市認定には「人才リスト」に登録され、認定を受けた指導者が必要。
- 地域で活動することを中心に多世代のつながりを作る。
- 競技の普及啓発の活動を行う。

地域総合クラブ型

- 総合クラブが設立
※TEAMひまわり
※アザリーベン
※加入の範囲は特に定めない。
（中体連を目指す場合は、県中体連の規定に従う）
- 運営主体は総合クラブ
- 市認定には「人才リスト」に登録され、認定を受けた指導者が必要。
- 地域クラブの理念による活動を行う。

寺子屋21

- 市が設立（令和6年度 4地区 100教室開設） 月2～3回実施 気軽に参加可能（前後期）
- 各クラブ型も運営可能。（体験⇒レクリエーション⇒競技力向上⇒地域活性⇒将来、地域に貢献）